

次世代貿易投資課題としての 「イノベーションと貿易」

(“Innovation and Trade” as One of
the Next Generation Trade and Investment Issues)

～ APECにおける先駆的取組～

2012年8月29日

経済産業省 通商政策局
アジア太平洋地域協力推進室長
笹路 健

Ken SASAJI
Director, APEC Office
Ministry of Economy, Trade and Industry
Government of Japan

FTAAP（アジア太平洋地域自由貿易圏）への道筋

2004年：ABAC（APECビジネス諮問委員会）、「APECワイドFTA（アジア太平洋地域をカバーするFTA構想）」を提言。

2006年：米国がFTAAPを提言。APEC首脳は、長期的展望としてのFTAAPを含め、地域経済統合を促進する方法及び手段について研究を進めることを合意。

2010年（日本年）「FTAAPへの道筋」に首脳が合意

●FTAAPを、「具体的なビジョン」にする時機が今であることを合意。

・FTAAPは、ASEAN+3、ASEAN+6、TPP協定といった現在進行している地域的な取組を基礎として更に発展。

・APECは、FTAAPの発展のプロセスにおいて、「リーダーシップ」と「知的インプット」を提供。

・APECは、FTAAPに含まれるべき「次世代型」の貿易・投資の問題を整理し、対処することに重要な役割を果たす。

「包括的な自由貿易協定」として追求

**APECは、FTAAPの
育ての親（インキュベーター）**

➡ FTAAPに向けた経済連携

➡ 次世代貿易・投資課題

次世代貿易・投資課題とは

2010年(日本年)・横浜首脳宣言「FTAAPへの道筋」

(抜粋)

APECは、FTAAPの発展のプロセスにおいて、リーダーシップと知的インプットを提供し、FTAAPに含まれるべき「次世代型」の貿易及び投資の問題を規定し、整理し、そして対処することに重要な役割を果たすことにより、FTAAPの育ての親(インキュベーター)として、重要で意義のある貢献を行う。

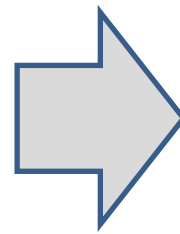
2011年(米国年)の議論

- ① 伝統的な貿易課題であるが、経済環境などの変化を踏まえ、新たな視点から見直すべき課題
- ② 15年前には貿易問題として存在しなかったが、現在のビジネスに大きな影響をもたらしている課題

国境の壁や組織の枠を超えられず、全て自前主義を追求

企業内や、自国の市場のみで、イノベーション活動を行うことの限界。

- ・市場の新規性
- ・技術開発やマーケティングの規模の大きさ
- ・不確実性の増大

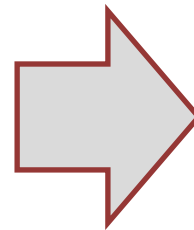


エネルギー環境分野など、今後、先端的な技術革新や新たなビジネスモデルの創出を実現していくためには、企業の枠や国境の壁を超えたオープン・イノベーションが有効。

次世代貿易・投資課題：「イノベーションと貿易」を進める背景②

保護主義的な発想に基づき、「閉じたイノベーション政策」を推進、国内企業を優遇

- 企業の自発的意思に基づかない技術移転の要求（知的財産権の保護に係る事項や技術ライセンス取引への政府の不当な介入等）。
- 国産品の優遇措置など外国製品や外資に差別的な措置の実施。

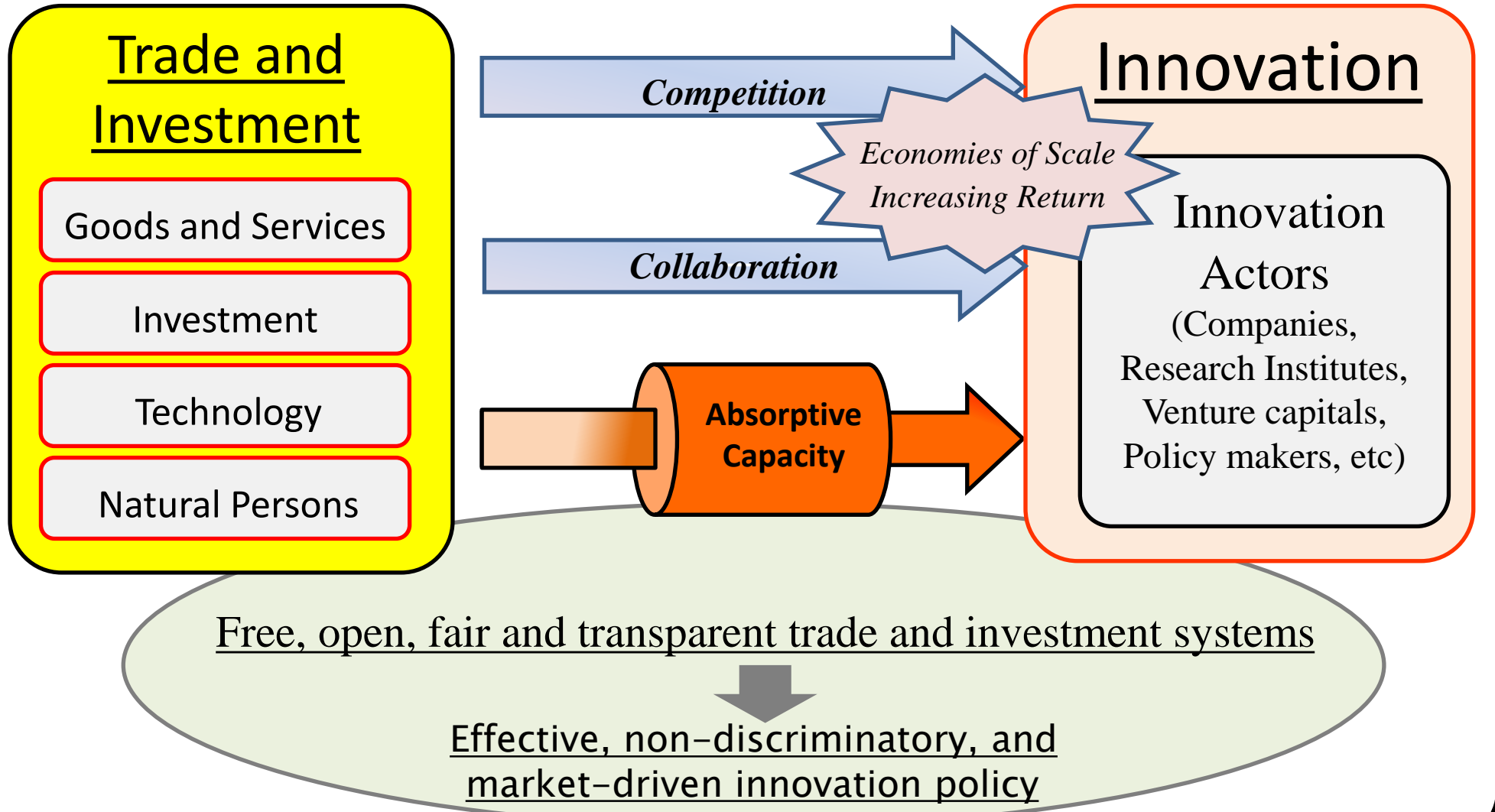


自由で公正な競争が行われず、真の意味での競争力は育たない。

国境の壁や企業の枠を超えた連携・協力を通じたイノベーションの機会を失ってしまう。

lose-lose

From Trade and Investment to Innovation



次世代貿易・投資課題：「イノベーションと貿易」

2011年11月開催のAPEC首脳会議での合意(ホノルル宣言)

FTAAPに向けた「次世代貿易・投資課題」の1つとして、「イノベーションと貿易」を特定。



「効果的、無差別かつ市場主導型のイノベーション政策」の推進
Effective, non-discriminatory, and market-driven innovation policy

自由で開かれたイノベーション環境の維持・発展、保護主義的政策の抑止に向けたAPEC域内での共通原則を策定。

効果的、無差別、市場主導のイノベーション政策のための共通原則

【日米共同で提案し、昨年11月のAPECホノルル首脳会議で合意（首脳宣言附属書A）】

1. ヒト・モノ・カネや先進的な発想などが、自由に行き交うオープンな経済地域を実現。
2. 新しいビジネスモデルの登場を阻害しない、競争的な市場環境を構築する。
3. 透明で、内外無差別の規制・制度を保持し、規制改廃に際しては、利害関係者に対する適正な手続きを保障する。
4. 海外からの投資をオープンに受け入れる投資環境を実現する。
5. イノベーションと競争を促し、物品・サービスのグローバル市場の形成に資する国際的な標準の活用を奨励する。

効果的、無差別、市場主導のイノベーション政策のための共通原則

【日米共同で提案し、昨年11月のAPECホノルル首脳会議で合意（首脳宣言附属書A）】

6. 不必要な貿易障壁となったり、イノベーションを萎縮させる過剰な技術基準等を排除する。
7. 「規制改革に関するAPEC-OECD統合チェックリスト」に沿った、透明性のある規制の制定・執行を確保する。
8. 知的財産権を実効的に保護・執行し、中小企業も含めたイノベーションの担い手による先端技術への投資を促進する。
9. 政府調達において、特許の取得地などにより企業を不当に差別することを行わない。
10. 技術供与や製造工程等の契約に関する企業の自主性を尊重し、WTOルールに沿わない国家の不当な介入を禁止する。

効果的、無差別、市場主導のイノベーション政策のための共通原則

【日米共同で提案し、昨年11月のAPECホノルル首脳会議で合意（首脳宣言附属書A）】

- 1 1. 「政府調達に関するAPEC非拘束原則」に沿った、差別のない競争的な政府調達を実施する。
- 1 2. プライバシーや情報セキュリティに関するものなど、情報通信技術政策について、貿易に与える負の影響を最小限に止めるとともに、国際調和を図る。
- 1 3. 周波数帯を効果的かつ効率的に管理し、正当性のない制限を行わず、革新的な利用に資する周波数帯の活用を促す。
- 1 4. アジア太平洋ワイドで研究者や研究機関の交流を促し、アジア太平洋地域が直面する諸課題を解決できるイノベーションを促進する。

※上記の効果的、無差別かつ市場主導型のイノベーション政策を推進するため、キャパシティ・ビルディングに係る取組を行う。

APEC 2012 : APECイノベーションと貿易会議

(APEC Conference on Innovation and Trade:

Policy Considerations Related to Generating and Absorbing Innovation)

日時:2012年4月4日~5日

場所:シンガポール

参加者:通商政策やイノベーション政策を担当する政府代表者、民間ビジネス界、起業家、投資家、研究者等の約200名程度が参加。

「自由で開かれた貿易投資を、国境を超えたイノベーションの促進に活用するためには、具体的に何が必要か」をテーマに、国境を超えたイノベーションの促進に必要な、「政府の役割」、「ビジネス環境」、「ICT等の社会インフラ」、「人材開発（起業家教育）」、「イノベーションの担い手間の繋がり」について議論を深めた。



A P E C 2 0 1 2 : 貿易担当大臣会合



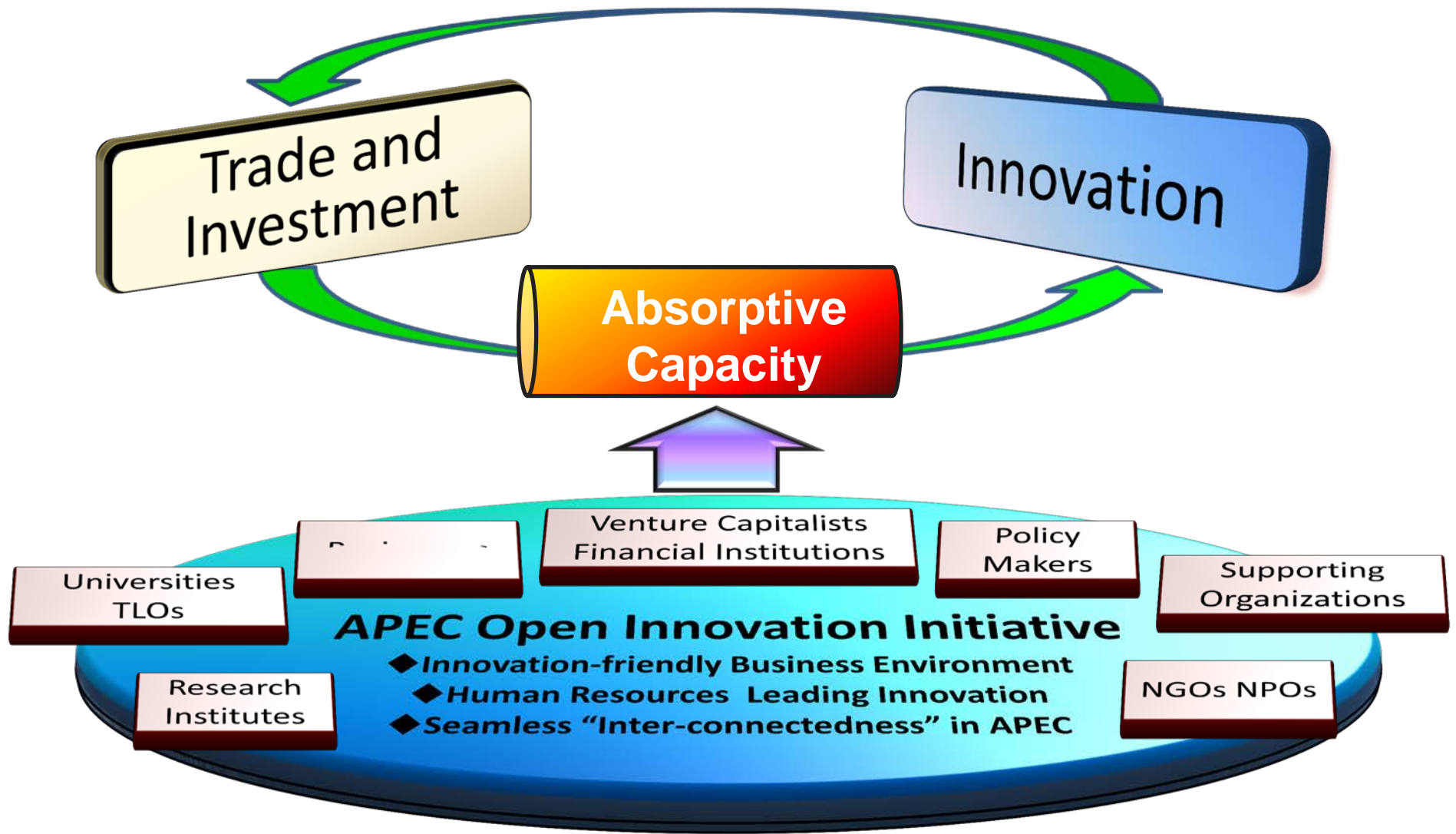
4月の「イノベーションと貿易会議」からのインプットを踏まえ、2012年6月のAPEC貿易担当大臣会合（@ロシア・カザン）において、**閣僚レベルで以下の認識を共有。**

APEC貿易担当大臣会合(MRT)声明(パラ37)〈2012年6月4~5日〉

閣僚は、効果的、無差別かつ市場主導型のイノベーション政策を促進するために行われた作業として、以下の重要性を強調した「イノベーションと貿易会議」の成果を、歓迎する。

- ◆知的財産権の保護や自由で無差別のビジネス環境を含めた、自由で(free)、開かれた(open)、公平で(fair)、透明な(transparent)貿易投資環境の実現
- ◆イノベーション人材育成
- ◆イノベーションの担い手間の繋がりを促進する、情報通信技術、物流、エネルギー及び他の関連インフラの役割

イノベーションと貿易の「相乗効果」を通じた 革新的成長の実現



アブソープティブ・キャパシティに含まれる要素

Absorptive Capacity of an APEC economy could include:

1. Business Environment

- Open and transparent legal frameworks
- Innovation friendly regulatory frameworks
- Rule of law
- IPR enforcement
- Free movement of Innovation Actors
- Appropriate incentive policies and programs
- Affluent money to fund ventures

2. Human Resources

- Knowledge and skills on technology
- Knowledge on entrepreneurship
- Capability for global R&D cooperation
- Networking and communication skills
- Sufficient education for innovation
- Internship

3. Interconnectedness

- ICT networks
- Social infrastructure
(Energy, logistics, transportation, etc)
- Effective and efficient R&D infrastructure
- Incubation support
- Sufficient networking opportunities

通商政策におけるインプリケーション ～「ゼロサム型」から「ノン・ゼロサム型」の議論へ～

- FTAAPに向けた通商協定において、今後ルール作りを目指す新分野(=next-generation trade and investment issues: (例)「イノベーションと貿易」)を特定した上で、必要な貿易投資ルールのあり方等を議論。
- 先進国と途上国とが対立して議論が膠着状態に陥る(ゼロサム)といった状況を回避しつつ、win-winのノン・ゼロサムの構図を演出できるような新分野のアジェンダ・セッティングが議論の正否を左右。

通商政策におけるインプリケーション ～「ゼロサム型」から「ノン・ゼロサム型」の議論へ～

- こうした議論は、域内の諸国・地域の間での信頼醸成（confidence buildingやtrusted relationshipsの形成）を図るプロセスにほかならず、域内の国際経済フレームワークのみならず、地域の安全保障環境の安定化にも寄与。



“Trust for Innovation”

APEC 2012：今後の予定

APECリーダーズウィーク
(於：ウラジオストク)

2012年

9月2～3日

最終高級実務者会合(CSOM)

9月5～6日

閣僚会議(AMM)

9月8～9日

首脳会議(AELM)

